

序章

水と緑に彩られた亀岡ライフスタイルを 誇り、受け継ぎ、活かす

朝起きると窓の外にはうっすらと霧がかかっている

遠くには山並みが見える

地元の野菜をふんだんにつかった朝食

朝の光に輝く山並み、ひろがる田園を見ながら仕事や学校へ
夕日が山の向こうに沈むころ、虫や鳥の声を聴きながら家路につく

休日は、家の庭木の手入れを楽しむ

子どもを連れ、山や川で、木や草花、生き物とふれあう


直売所では、新鮮な食材が並び、市民農園では土に親しむ

田植え体験では、子どもが泥の感触に驚きながら、一生懸命がんばる姿が印象的
自然に囲まれながら、穏やかな時間を過ごし、心身ともにリフレッシュする

亀岡の風景に胸が高鳴るのは、電車で亀岡に戻るとき

幾度もトンネルを抜けるたび、車窓から保津峡の水と緑が垣間見える
最後の地蔵トンネルを抜けると、開放感溢れんばかり、一面の田園が広がる

秋には豊穡の黄金色が絨毯を広げて輝く



毎日見る風景は、季節によって様相を変え、私たちを楽しませてくれる
七谷川和らぎの道の桜並木、里山の森林浴、神蔵寺の紅葉、平の沢池の渡り鳥…

公園や神社仏閣、並木道では、身近に四季の移ろいを楽しめる

駅に降り立つと盆地を囲む山々の風景が、来訪者を出迎える
市街地では、市民の手により、オープンガーデンやハンギングバスケットがまちを彩る

保津川下りの舟に乗る観光客に向かって、山本浜から手を振る
すると、観光客も手を振り返してくれる これは亀岡ならではの挨拶の光景

亀岡には、みずみずしい自然の中で穏やかに営まれる人の生活がある

これらは、亀岡が誇れる、キラリと光る財産だ

さあ、水と緑に彩られた住みよい亀岡を受け継ぐために、自分ができていることを考えよう

